

# 2023年度 ニチキッズせいせき桜ヶ丘駅前保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2024年1月4日（木）～1月31日（水）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2024年3月15日（金）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	「おもいっきり遊ぶ おもいっきり学ぶ」の保育理念を念頭に置き、子ども一人ひとりの気持ちに寄り添うことを大切にしながら、質の高い保育の提供に努めた。
子どもの発達援助	保育士と栄養士が連携し、子どもの姿を予想しながら個々の発達に合わせた援助ができるよう保育計画を立案し、それぞれの職務内容に応じた支援を実践していった。今後はより一層の連携を図り、専門的知識を発達援助に活かしていきたい。
保護者に対する支援	ホームページや連絡帳に行事や日常の様子を記載したり、送迎時の情報交換をしたりすることで子どもへの愛情や成長を保護者と喜びあう気持ちを共有できた。今後は保護者の子育てにおける思いに寄り添い、共感しながら保護者と信頼関係を築いていきたい。
保育を支える組織的基盤	職員会議やミーティングで職員同士の意見交換を行い、共通の認識を持って業務を行えるよう努めた。園が職員・子どもにとって快適な場所となるよう、協力しながら保育にあたるよう努めた。また、園内外の研修に参加することで自己研鑽の機会を持ち、保育の質向上を目指した。

総評
ニチキッズの保育理念や保育方針に基づいた保育計画を立て、子ども主体の保育を第一に考えて取り組むことができた。食育活動や季節の行事などでは子どもたちの月齢に合わせて興味や関心を深められる内容で計画していった。また、親子行事や懇談会、保育参加等で保護者同士の交流の場を設けたり、子どもたちの様子を直接見ていただいたりする機会をつくることができた。今後は子どもだけでなく、職員や保護者も安心して通える保育園作りを続けていきたい。